



# あいち Junior Red Cross 青少年赤十字

令和2年度・3年度 研究委嘱校 岡崎市立城南小学校

## つながりある学びで育む 城南の未来を拓く子供たち

～青少年赤十字の考えを大切にした活動を通して～



育てよう 調べよう いもパワー

### JRCの理解を広める活動



命を守る～自分たちにできること～

### JRCの理解を深める活動



思いやりの心を育てる あさがお栽培

### 「命(いのち)の教育」の6年間



見つけよう！やさいのひみつ

### 城南 CITY カーニバル



共に生きる～私たち支え合い隊～



白もくれんの並木再生プロジェクト



（愛知県立旭丘高等学校長）  
小林 整次

青少年赤十字指導者協議会高校会長

## 青少年赤十字の活動の意義

今年三月一日、卒業生に『夜と霧』の作者ビクトール・フランクルの言葉を紹介しました。人間は、人生から問われている存在である。人間は、生きる意味を求めて人生に問いを発するのではなく、人生からの問いに答えなくてはならない。』（『医師による魂の癒し』諸富祥彦訳）

別の著書では、人間存在は常に何かにまたは誰かに向かっており「自己実現は自己超越の副次的效果としてのみ可能です」（ロゴセラピーのエンセンス）といいます。ボランティア活動をすると、心と体が「誰か」や「何か」に向かって働きます。

第二次世界大戦中にアウシュビツツの強制収容所での生活を余儀なくされ、戦後極限状態の体験を『夜と霧』に著しました。生徒に絶望や苦悩の淵にあつても、そこから反転して精神の高みへ飛翔することが可能なことを伝えたいと思いました。

かに向かっており「自己実現は自己超越の副次的效果としてのみ可能です」（ロゴセラピーのエンセンス）といいます。ボランティア活動をすると、心と体が「誰か」や「何か」に向かって働きます。終わってみると体は疲れても、言葉や視線が人と通り合ったことで、心が満たされた経験はありませんか。自分以外の人や物事に我を忘れて懸命になるとき、人は思いがけず成長するのでしょうか。

青少年赤十字の活動は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、実践目標に「健康安全」「奉仕」「国際理解・親善」を、主体性を育むための態度目標に「気づき」「考え」「実行する」を掲げています。学習指導要領にあるように、学んだことや修得した力を活かし、いかに社会や世界と関わるかを自ら考える、「考え」「実行」することが重要です。青少年赤十字の活動をとおして、他者の幸福と自分の幸福の方向性が重なる生き方や実践と出会うことは、とても意義深いことだと思います。

## 各地区の活動状況

高校部会では、役員会・機関誌委員会が感染症拡大の影響により開催できず、状況が読みました。(か)、オシ

名古屋地区

尾張地区



## お年玉募金贈呈式の様子

○ 豊田市社会福祉大会  
実践した成果の発表をし合う中で多くの学びを得ることができました。

○ お年玉募金活動  
各加盟校の特色ある活動をボードにまとめて展示をし、青少年赤十字活動を広く市民に紹介しています。

○ 海外の教育支援及び国内の豪雨災害、震災災害等への復興支援に役立てていただいています。

コロナウイルス感染症対策として、宿泊をやめ、日帰り一日間の研修会としました。八月に第一回の研修を行ない、そこで学んだことを各学校へ持ち帰つて、実践を行いました。十二月に行つた第二回研修会では、それぞれが

○ヨリアソビ

豊田地区は、豊田市とみよし市すべての小中特別支援学校百十七校が加盟しています。各学校は、次の三つの活動を進めるとともに、学校独自の特色ある取組も積極的に行っています。

考え・実行する」を実践し、九名と少ない人数ではありました  
が、参加した生徒がリーダーシップを実践的に学ぶことのでき  
たトレセンを行なうことができました。



「ボッチャ」の説明を聞いている様子

ルを愛知県支部と主任で作成することにより、全国で唯一の宿泊を伴うトレセンを夏に実施しました。例年に比べて縮小せざるを得ない部分もありましたが、新たに「ボッチャ」体験の導入や、青年奉仕団の大学生がオブザーバーとして参加するなど新たな取り組みも導入しました。愛知県支部・指導者が、コロナ禍の現状に嘆くだけでは

実践した成果の発表をし、  
の学びを得ることがで

卷之二

しました。八月に第一回の研修を行  
い、そこで学んだことを各学校へ持ち  
帰つて、実践を行いました。十二月に  
行つた第二回研修会では、それぞれが

コロナウイルス感染症対策として、宿泊をやめ、日帰り一日間の研修会と

○地区アレンジ

豊田地区は、豊田市とみよし市すべての小中特別支援学校百十七校が加盟しています。各学校は、次の三つの活動を進めるとともに、学校独自の特色ある取組も積極的に行っています。

考え・実行する」を実践し、九名と少ない人数ではありました  
が、参加した生徒がリーダーシップを実践的に学ぶことのでき  
たトレセンを行なうことができました。



## トレヤンの様子

オントレイ、地区でレセンを実施しました。参加した。ンバーは白

三歳の誕生日に、お父さんから「お父さんもお母さんも、おまえの誕生日を祝う」という言葉を聞きました。

校長連絡会を清須市春日公民館にて  
三年ぶりに開催することができました  
また、七月二十六日（火）に春日井市  
市少年自然の家で開催予定の尾張地  
区青少年赤十字リーダーシップ・ト  
レーニング・センターは、一日日程の  
予定でござり、二度の三年ぶりになり

月六日に昨年

六月十四日（火）に令和四年度尾張地区青少年赤十字加盟校総会並びに

ある『気  
づき、考  
え、実行  
する』、  
とのでき  
る児童生  
徒を育む。  
活動を推  
進してい  
きたいと  
思います



#### 尾張地区総会並びに校長連絡会

## 知多・海部地区



各校の活動の様子

令和三年度は、コロナウイルス感染症予防のため、ほとんどの会を中止せざるをえませんでした。令和四年度は、その反省を踏まえ、できるだけ工夫して開催することを検討しました。まずは、五月十七日（火）に令和四年度の知多・海部地区青少年赤十字指導者協議会総会を南知多町総合体育館で開催しました。地域が離れていること、密を避けることを考え、役員と地区代表者のみの参加で総会としました。そこで、今年度の事業計画を次のように進めていくことを確認しました。

### ○指導者講習会・児童生徒交歓会

期日 十二月二十七日（火）

会場 知多市勤労文化会館

交歓会は宿泊をしないので、できるだけ参加人数を減らして開催するよう考えていました。

知多・海部地区の加盟校は、知多が百十三校、海部が五十七校、合計百七十校です。各校それぞれ「気づき・考え方・実行する」児童生徒を育成するようさまざま活動に取り組んでいます。

東三河地区（豊橋・豊川・蒲郡・新城・設楽・田原）では、小学校四十六校、中学校十八校の合計六十四校が加盟しています。第一回東三河地区青少年赤十字指導者協議会総会は、昨年度同様に紙面で開催しました。それぞれの学校では特色のある活動や地域と連携した実践等日々行われています。たてわり班（異学年で構成される班）による活動、あいさつ運動や清掃活動等、多種多様な活動が広がっています。また、ボランティア団体や外部講師による福祉実践教室、人権や命にかかる講話をしていくなど、学校以外とのつながりが強くなっている学校もあります。

二月には「青少年赤十字活動実践集」の発行を予定しています。各校の今年の実践をまとめ、次年度の活動に生かしていくことを考えていました。今年も「気づき・考え・実行する」児童生徒の育成を図っていきます。

五月十七日（火）、岡崎地区小中学校指導者協議会総会・研修会が開催され、本年度の役員や活動計画が承認されました。研修会では、岡崎市立城南小学校教諭、酒井孝康様より「つながりある学びで育む城南の未来を拓く子供たち」と題してご講演いただきました。

今年度の主な活動は次の通りです。

### ○地区トレセン

七月二十八日、二十九日（木・金）

市内全ての小中学校から各一名の参加で実施します。今年度は小中合同、日帰り日程を二日間行う予定です。

### ○「JRC岡崎だより」発行

総会・研修会、トレセンの様子のほか、各校での特色ある青少年赤十字活動を紹介します。

### ○「トレセン文集」発行

トレセンに参加した児童生徒の感想や各校に戻つて取り組みたいことをまとめ、トレセン文集として発行します。

## 東三河地区



みんなできれいに530運動

## 岡崎地区



総会・研修会の様子

### ○地区トレセン

今年度は碧南市勤労青少年水上スポーツセンターを会場とし、七月二十七日に小学生を対象に実施します。一日開催を予定しています。参加をした児童が、赤十字活動への理解を深め、各学校に戻つて、これらの活動をより広めてくれることを願っています。



トレセンでのホームルームの様子

## 刈谷・安城地区

刈谷・安城地区（知立・高浜・西尾を含む）では、小学校四十三校、中学校二十校、特別支援学校一校の合計六十四校が加盟しています。第一回刈谷・安城地区青少年指導者協議会は、紙面にて開催しました。各学校の活動計画を掲載し、本年度の活動を発表し合いました。



トレセンでのホームルームの様子

留学生の話を興味深く聞く様子  
豊かにしていく計画についても語りました。



留学生の話を興味深く聞く様子

本校では、毎年大学の留学生との交流を行っています。留学生の国を紹介してもらったり、質問したりして交流します。また、みんなでレクをして一緒に時間を楽しみます。交流会を通して、異文化に関心をもつ児童も多く、世界には多様な価値観のもと生きている人々がいることがあります。また、これままで自分の生活を振り返りながら、自分なり、自分やまわりに生きる人々、そして世界中の人々がよりよく生きていくために大切なことについて考えを深めることができます。自ら募金に協力する児童も増えます。世界の人々のために、自分にできることを探し、考える姿は、とても頼もしく感じます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の広がりから交流を行うことができませんでした。しかし、今年度は実施できる見通しです。

初めは、特定の子しかあいさつをしてくれませんでした。しかし、小さな声でもあいさつをしてくれる子が少しづつ増えてきて、今では大勢の子があいさつしてくれるようになりました。

私は、あいさつ運動の旗を持つと、「今日もがんばるぞ。」という気持ちになります。みんなも笑顔であいさつを返してくれるので、改めて、あいさつパワーを持っていると思いました。

本校では、毎年大学の留学生との交流を行っています。留学生の国を紹介してもらったり、質問したりして交流します。また、みんなでレクをして一緒に時間を楽しみます。交流会を通して、異文化に関心をもつ児童も多く、世界には多様な価値観のもと生きている人々がいることがあります。また、これままで自分の生活を振り返りながら、自分なり、自分やまわりに生きる人々、そして世界中の人々がよりよく生きていくために大切なことについて考えを深めることができます。自ら募金に協力する児童も増えます。世界の人々のために、自分にできることを探し、考える姿は、とても頼もしく感じます。

初めは、特定の子しかあいさつをしてくれませんでした。しかし、小さな声でもあいさつをしてくれる子が少しづつ増えてきて、今では大勢の子があいさつしてくれるようになりました。

私は、あいさつ運動の旗を持つと、「今日もがんばるぞ。」という気持ちになります。みんなも笑顔であいさつを返してくれるので、改めて、あいさつをする人もされる人も笑顔にするすごいと思います。

春日井市立鳥居松小学校  
教諭 阪井 克典

勝幡小は明るい子が多く、いつも笑い声が響いています。しかし、元気にはあいさつができる子が少ないと感じていました。私はあいさつ運動を通してあいさつのできる勝幡小にしたいと考えました。



## みんなを笑顔にする あいさつ運動

愛西市立勝幡小学校 六年 梶浦 光莉

## 校区クリーン作戦 地域との交流から学んだこと

豊川市立代田中学校 教諭 松井 勇祐

## 全校で実行する生活力アップ 岡崎市立翔南中学校 三年 池山 花

担当場所をどのように清掃したらいのかを生徒たち自身が足を運んで調べます。「トイレが汚れている」「落ち葉に混じってガラスがあるから手袋が必要だ」など、清掃が必要な箇所を見つけたり、落ちているごみから必要な道具を考えたりしてしています。この活動を通して、地域の担い手としての中学生のがんばる姿を示すとともに、自分たちが住む地域のよさを再発見する時間にもなっています。今後も、生徒の「気づき・考え・実行する」姿の見られるこの活動を継続していきたいと思っています。

クリーン作戦に向けて、それぞれの担当場所をどのように清掃したらよいのかを生徒たち自身が足を運んで調べます。「トイレが汚れている」「落ち葉に混じってガラスがあるから手袋が必要だ」など、清掃が必要な箇所を見つけたり、落ちているごみから必要な道具を考えたりしてています。この活動を通して、地域の担い手としての中学生のがんばる姿を示すとともに、自分たちが住む地域のよさを再発見する時間にもなっています。今後も、生徒の「気づき・考え・実行する」姿の見られるこの活動を継続していきたいと思っています。

毎年五月、本校では小学生と中学生、保護者、地域の方々が連携し、校区内の公園や道路などを清掃する取り組みを行っています。その活動では、中学生が率先して活動し、地域の原動力として活躍する姿が見られます。

クリーン作戦に向けて、それぞれの担当場所をどのように清掃したらよいのかを生徒たち自身が足を運んで調べます。「トイレが汚れている」「落ち葉に混じってガラスがあるから手袋が必要だ」など、清掃が必要な箇所を見つけたり、落ちているごみから必要な道具を考えたりしてています。この活動を通して、地域の担い手としての中学生のがんばる姿を示すとともに、自分たちが住む地域のよさを再発見する時間にもなっています。今後も、生徒の「気づき・考え・実行する」姿の見られるこの活動を継続していきたいと思っています。



地域のみんなで清掃活動

私たち三年生では、六月の修学旅行に向けて「生活向上ウイーク」と題し、学校生活の見直しを行いました。「当たり前のことこそ徹底したい」と学級委員で話し合い、新型コロナウイルス感染症対策として給食の無言配膳を徹底しよう、さらなる校内美化に勤めるために無言清掃に取り組もうなどの目標を定めました。各クラスで目標をクリアしたら修学旅行の見学地の絵が完成していくようにしました。各クラスの状況をみえる化し、絵が出来上がったことで一人ひとりの意識が前向きになり、学年の生活力を底上げできただけではなく、気持ちよく修学旅行に行くことができました。

一・二年生でも同様に、生徒中心に生活態度の向上を目的とした活動が現在行われています。これからも生徒が自ら気づき、考えた企画を実行し、学校を活気づけていきたいと思います。



目標を達成し絵を作成する生徒

チームカナダとの交流を通して

安城市立今池小学校

教諭 山崎 悠人

丰田市立童子山小学校

## 教え子から教わったJRの大切さ

名古屋市立笈瀬中学校

教諭  
秋山  
哲人

昨年度、オリンピックイヤーということもあり、安城市に事前合宿に来た女子ソフトボールカナダ代表とオンラインで交流をする機会をもらいました。学年で話し合い、子どもたちを中心とした「チームカナダ交流プロジェクト」を立ち上げました。

子ともたちは、交流に向けてとんでもらえるか、喜んでもらえるかを考えました。「日本式の応援を届けたい。」「英語で質問をしたい。」「国旗にメッセージを書いて送りたい。」など様々な案を可能な限り交流会に詰め込みました。休み時間返上して取り組んできましたが、子どもたちは誰一人根を上げず、最後まで楽しみながらやりきりました。



### カナダ代表にエールを送る児童たち

かし、挨拶を応げたいという思いをもつて、児童たちが自ら「気づき」「考え」「実行する」を行つたあいさつ活動は、まさしくJRC活動の一つだったのだと思ひました。大きな事柄だけではなく、員会活動、普段の生活など、教員も身近な問題に目を向け、児童と共に自ら問題を解決しようとすること、よい学校づくりにつなげたいと思います。



あいさつ活動

徒の成長はもちろんですが、私自身が成長できたように思います。さて、先ほど話題に挙げた生徒は、当時の私の話を聞いては「言っている意味が分からん」とよく愚痴をこぼしていました。それでも、活動を続けていけば絶対に分かる時が来ると信じていた私は、何度も活動の振り返りをさせ、その都度、赤十字の活動の意義について考えさせていきました。彼は高校を卒業し、やがて社会人になつてから、相手の二、三を考えて行動する大切さに気づき、ようやく彼の中での「気つき」「考え方」「実行する」のサイクルがスタートしたようです。学び続けていくJRCは本当に奥深いものです。だからこそ私も、もつと広い視野で様々な気づきが得られるよう、取り組んでいきます。



「いえままでごろく」に取り組んでいる様子

「先生、あいさつ活動してきますね」  
昨年度、受け持った一人の児童が大きな声で教室から出ていきました。休み時間に外に遊びに行く児童に向かって、並んで挨拶をしています。

本校では、素敵な挨拶をする児童に「あいさつマイスター」の称号とバッチを渡す活動を行っています。ある児童が登校してから教室まで、高学年や低学年のみんなが挨拶を交わしながら笑顔で階段を歩く姿が素敵だったので広めたいと思い、あいさつ活動を始めました。そんな一人の児童の思いから始まつたこの活動は、友達同士を誘い合い、時間を決め、ポスターを作成し、クラスの中どんどん広がっていきました。

JRCといえば、「募金活動」や「献血」という活動が浮かんできます。しかし、挨拶を広げたいという思いをもち、児童たちが自ら「気づき」「考え」「実行する」を行つたあいさつ活動は、まさしくJRC活動の一つだったのだと思ひました。大きな事柄だけでなく、学校行事や委員会活動、普段の生活など、教員も身近な問題に目を向け、児童と一緒に自ら問題を解決しようと努力する姿勢をもう一つことで、よりよい学校づくりにつなげたいと思います。

#### 生徒たちが1から作るメンバー連絡会

初任者のとき、大変お世話になつていた先輩に「手伝つてほしい仕事がある。」と、言われて取り組んだのがJRCとの出会いでした。最初はいつもお世話になつていた恩返しのつもりで取り組んでいたのですが、だんだんとJRCの魅力に気づき始めました。先輩の先生方の姿から、態度目標である、「気づき、考え、実行する。」を、子どもたちに実践させるために、様々な仕掛けを準備したり、子どもの様子を注意深く見守りながら、待ちの姿勢でいたりすることが大切であることを学びました。その後、同世代の仲間たちと、態度目標を実践するためにどのような仕掛けを準備したらいか、議論も重ねました。その結果が、勤務校の生徒指導にも表れるようになり、JRCの指導法の素晴らしさを再認識しました。

本年度は、一年生の総合学習で防災・減災学習を行つています。その際、「まもるいのちひろめるぼうさい」や「いえまですごろく」を教材として指導を行いました。子どもたちはとても楽しそうに活動に取り組んでいました。今後も、JRCの教材を活用し、子どもたちが楽しく学べる授業を行つていきました。

豊橋市立北部中学校

加盟校だより



## 花壇整備隊の様子

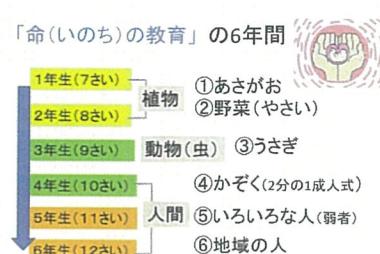
昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため校内での美化活動にとどめて北中ボランティアとして取り組みを始めました。五月に「プール掃除隊」「草むしり隊」「ひまわりの種まき隊」、十月に「北中祭準備・片づけ隊」、十一月に「花壇整備隊」など季節ごとに参加者を集め活動を行いました。この活動を「北中ボラン」をして得点化し貢献度の高い生徒を表彰しました。活動後の生徒の感想から、校内美化に役立っているだけでなく、奉仕の精神が育まれた成果を感じることができました。今後も感染防止の新しい生活スタイルでも実施可能な社会に貢献する活動を生徒とともにつくり上げていきたいと思います。

本校では、校訓「為せば成る」を含む言葉に、自らを高め地域に貢献できる人材の育成を大きな目標としています。そこでここ数年は、ボランティア活動を「郷土を愛し、地域に貢献する北中健児の姿を実現する場」と捉え取り組んでいます。

岡崎市立城南小学校



城南CITYカーニバル



「人を大切にする城南小学校」の理念と、長年根付いたJRCの取組を大切に、研究主題を「つながりある学びで育む 城南の未来を拓く子供たち～青少年赤十字の考え方を大切にした活動を通して～」として、研究を行いました。

「JRCの理解を広める活動」では、JRCの理念や具体的な活動を一人一人が理解できるように、朝会の場で繰り返し扱いました。マザーテレサや、キング牧師など、JRCの理念を体現した人物を取り上げることで、子供達も行動のイメージが沸いたようでした。また、朝会後は、担任が内容について実態に応じてかみくだいて話したりと、学級の課題とつなげたりすることで、JRCへの理解が徐々に浸透していきました。

「JRCの理解を深める活動」では、「命の教育六年間」を設定し、各学年で扱う「命」について発達段階に合わせ、植物・動物・人

刈谷市立朝日小学校



## 5年牛車椅子教室の様子

本校では、毎年講師の方をお招きし、福祉実践教室を行っています。

主な活動として、事前に各市から配付された福祉に関する冊子を使い、クラス担任が事前指導を行います。四年生は手話、五年生は車椅子、六年生は点字について学びます。

福祉実践教室を通して「障害をもつた人だけではなく、困った人がいたら助けてあげたい」といった児童の感想がありました。実際に校内で、けがをして松葉づえや車椅子で生活をしている児童に対して、優しく声をかける姿や手伝う姿を見ることができ、福祉実践教室で学んだことを日常生活の中でも活かすことができています。

このような機会を通して、周りの人に対し、気づき・考え・実行できる児童を育てていきたいと思います。

(神田  
裕香)

丰田市立平井小学校



#### 全校で集めているエコキャップ

本校では、毎年、エコキャップとベルマークを集めています。エコキャップは、八百個集めると、ワクチン一人分と換えることができます。そのワクチンで、病気の人を助けることができます。一人でも多くの人を助けられるよう、この活動に取り組んでいます。

ベルマークは、「自分たちの学校づくり」と「子どもたちへの教育援助」に使われます。学校の備品を買つたり、その買つた代金の十パーセントがベルマーク財団に寄付され、災害で被災した学校などの援助活動に使われたりします。いずれの活動においても、JRC委員の児童が中心に呼びかけ、毎年多くのエコキャップとベルマークを集めることができていています。また、各家庭でエコキャップやベルマークを集めることに協力をいただいたり、それを回収するJR C委員の児童が積極的に動いたりと、様々なところで、「気づき・考え・実行する」姿が見られることも、成果の一つとしてあげられます。

愛知県立岡崎東高等学校

がブツクオフと協力して取り組んでいる「キモチと。」に参加しました。これは、書籍やCD・DVD・衣類などをブツクオフに送り、その売上金が希望した支部へ寄付される仕組みです。本校では「書籍・漫画・CD・DVD」を収集しました。初めての試みで募集方法などに課題は残りましたが、今後も継続していきたいです。

四月には、ロシア・ウクライナの戦争が激化して状況を受け、自分たちに何かできないかと部員で相談している中で、日本赤十字社のホームページで「ウクライナ人道危機救援」を見つけました。部員達はすぐに行動に移し、四月十五日の朝昇降口に立ち協力を呼びかけ、生徒及び教職員から多くの協力を得られました。これからも常に「今必要なボランティア！」を部員で相談しながら取り組んでいきたいです。



## 「ウクライナ人道危機救援金」活動の様子

A group of students in school uniforms are standing in a hallway, holding yellow signs with handwritten text. One sign clearly reads 'ウクライナ人道危機救援金' (Ukraine Humanitarian Crisis Relief Fund). They appear to be part of a school club or organization involved in a relief effort. The background shows a classroom with educational posters on the wall.

名古屋市立吉根中学校

A group of students in school uniforms are gathered around a table, focused on a task. They are wearing white face masks. On the table is a green book and a white tray containing small items, possibly representing emergency supplies or evidence. The background shows other students and classroom furniture.

#### 「災害時シミュレーション」を使った授業の様子

災していることもあります。どの生徒も真剣な表情で学習に取り組んでいます。一年間の学習を通して、いざというときにまずは自分の命を自分で守り、周りの人を助けるために自ら「気づき・考え・実行する」事ができるよう、様々な学習を進めています。(大原 美智代)

本校では、毎年一年生の総合的な学習の時間で「知ろう・考えよう・行動しよう！我ら吉根減災士！」というテーマで減災学習に取り組んでいます。青少年赤十字防災プログラム「まるもるいのち ひろげるほうさい」の動画を視聴したり、グループワーク教材「災害時シミュレーション」に取り組んだりしながら学習を進め、一年間の集大成として「避難所設営体験」を行っています。地域に大規模災害が発生し、学校が避難所となつたことを想定して、実際に体育館に避難所を設営して、非常用水栓開栓・災害用トイレなどの施設設置・食料の炊き出し・要支援者の避難誘導体験・救急救命法学習などを班に分かれて行います。本校の学区は平成二十三年に内水氾濫で被

岩倉市立五条川小学校

また、認知症サポーター養成講座では、認知症について正しく学ぶことで、相手の心を知り、差別を許さない気持ちをもつことの大切さを学ぶとともに、自分たちの住んでいる町を安心して暮らせる町にする重要性について学びます。さらに、ユニバーサルデザインについて学ぶ中で、すべての人にとって使いやすく作られている文房具や公共施設の表示があることを知り、ノーマライゼーションについても理解を深めます。今後も、これらの活動を軸とし、JRCの態度目標である、「気づき・考え・実行する」ということを意識し、子どもたちの活動を支えていきたいと思います。



### 福祉実践教室の様子

本校は「自主 勤労愛好 時間尊重」という校訓のもと、生徒たちが主体となって活動をしています。また、JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」を体现することを意識し、生徒会を中心に様々な活動に取り組んでいます。その中でも、SSP（坂道清掃プロジェクト）という活動があります。阿久比中学校は町の高台に所在します。坂をより美しくし、気持ちよく登校ができるようするために、生徒たちが主体となつて企画しました。自動的な活動ではありましたがあが、約百名もの生徒が参加し、勤労愛好の精神を高めることができました。他にも時間尊重を意識したノーチャイム制の導入や自主を育てるために制服選択制の導入などに取り組んでいます。今後もJRCの態度目標を意識し、生徒主体となる活動に取り組んでいきます。（蟹井 裕晴）



### SSP（坂道清掃プロジェクト）に励む生徒

阿久比町立阿久比中学校

グローバル化を意識した、外国語挨拶運動



国道1号線沿いの清掃活動



## 安城市立東山中学校



コロナ対策を小学生とオンライン会議



## 令和2・3年度 研究委嘱校 安城市立東山中学校 わたしを信じる みんなを信じる —「自分軸」を確かに伸ばす「きき合い」の授業—

愛知県青少年赤十字指導者協議会  
総会での表彰式

日本赤十字社愛知県支部では、青少年赤十字活動のさらなる充実・推進と未加盟校への活動普及を目的に、研究推進校を設置しています。研究は二か年の委嘱期間で実施され、二年目に研究成果の発表を行います。

参加者された先生方は、両校の研究実践に熱心に聞き入ってみえました。両校の研究要項を全加盟校に配付させていただきました。

総会では、議事に先立つて表彰式が行われ、五十九名の先生方と百四十五の学校と園が表彰されました。

総会に引き続いて、令和二・三年度の研究推進校であった「岡崎市立城南小学校」と「安城市立東山中学校」が実践発表を行いました。

日本赤十字社愛知県支部では、青少年赤十字活動のさらなる充実・推進と未加盟校への活動普及を目的に、研究推進校を設置しています。研究は二か年の委嘱期間で実施され、二年目に研究成果の発表を行います。

## 支部通信

### 令和四年度事業計画

\* 役員会・実践発表会 4月19日  
(会場 ウィルあいち)

\* 第一回トレセン検討会 5月13日  
(会場 愛知県支部)

\* 高校指導者研究会・メンバー連絡会 5月28日  
(会場 愛知県支部)

\* 救急法講習会 7月25日・26日  
(会場 愛知県支部)

\* 高校トレセン 7月31日～8月2日  
(会場 愛知県支部)

\* 小中トレセン 8月5日  
(会場 愛知県青年の家)

\* 第二回トレセン検討会 9月3日  
(会場 愛知県青年の家)

\* 指導者講習会 8月21日・22日  
(会場 愛知県青年の家)

\* 加盟校校長・指導者研究会 1月20日  
(会場 愛知県公会堂)

\* 指導者講習会実践発表会 1月28日  
(会場 名古屋市公会堂)

\* 高校活動発表会 2月4日  
(会場 愛知県支部)

\* 令和三・四年度研究推進委嘱校  
(会場 愛知県支部)

\* 犬山市立羽黒小学校  
(会場 愛知県支部)

\* 豊田市立中山小学校  
(会場 愛知県支部)

### ○加盟状況 (令和三年十月一日現在)

・ 加盟校合計 一、〇八六校・園  
・ メンバー総数 四四〇、四八八名



発行者 令和四年七月  
愛知県青少年赤十字指導者協議会  
事務局 日本赤十字社愛知県支部  
〒四六一―八五六一  
名古屋市東区白壁一―五〇  
TEL ○五二一九七一―五九九  
FAX ○五二一九七一―五九九